

(1) 2017 年度事業報告

2017 年度は収入、支出ともに目標額を下回る結果になりました。事業収入は、当初予算(収入見込み額)49,850,000 円を下回る 49,054,614 円で、目標額に対し 98.4%となりました。

各部門の結果は居宅介護支援事業が 2,400 円、通所介護事業が約 571,000 円と共に目標額を上回りましたが、訪問介護事業は約 587,000 円、障がい・福祉サービスは約 578,000 円の減となり、これらに付随して有償運送も約 172,000 円の減になりました。収入では、他に営業外収益や補助金がありました。

支出は 49,660,000 円の目標に対し約 49,334,402 円(約 330,000 円の減.)でした。

人件費は、最低賃金の改定による基本給の見直し、パート賃金に対し処遇改善加算分の上乗せを実施するなど、待遇改善に努めた結果約 498,000 円の増になっています。

職員募集の取り組みは、ハローワークへの登録(17 年 6 月～18 年 2 月)や募集チラシの新聞折込み(大樹・広尾町内)などを行ってきましたが採用にはいたりませんでした。慢性的なヘルパー不足が続いています。

ひなたぼっこ独自で実施している研修助成金制度は介護支援専門員の更新や同行援護の研修など資格取得やキャリアアップなどに活用されています。

“17 年 5 月 21 日の第 40 回総会で「ひなたぼっこ 15 周年記念お食事会」を開催しました。

通所事業が地域密着型通所事業となり運営推進委員会議の開催や「ひなたぼっこの交流会」(通所介護開放デイ)を実施することにより、ひなたぼっこを地域の人たちに理解していただくよい機会になりました。

1) 収入について

- ・訪問介護収入は、介護・予防を合わせて 20,412,369 円 (97.2%) となり目標額の 21,000,000 円に対し 587,631 円の減となりました。本格的に始まった日常生活支援事業の影響も考えられ総利用者数も前年度比 1 割減でした。しかし、1 日に複数回の提供を必要とする利用者が増え主任の出動やサービス提供責任者の負担も多くなっています。

- ・居宅支援事業収入は 9,302,400 円 (100.03%) で目標額 9,300,000 円に対し 2,400 円の増となりました。

- ・通所収入は、16,571,712 円 (103.5%) で目標額 16,000,000 円に対し 571,712 円の増となりました。要介護者の利用回数の増がみられますが、予防は 16 年度の利用状況と比較すると 2 割の減になっています。

- ・障がい収入は、1,921,480 円 (76.9%) で目標額 2,500,000 円の対し 578,520 円の減となりました。障害があっても 65 歳以上であったり、40~64 歳で介護保険に該当する疾患がある場合は介護サービスの利用が優先されることも増加し

ない原因のひとつと考えられます。

- ・ 2017 年度の総収入は 予算対比 795,386 円減の 49,054,614 円となりました。
さらに営業外収益を加え法人税を差し引くと、当期純利益は 761,426 円の黒字
になりました。

2) 費用について

- ・ 人件費は、北海道の最低賃金が上がったことにより給与改定をおこないました。
処遇改善加算Ⅱの取得により、ヘルパー賃金に処遇改善加算分として 7%の上
乗せを実施しました。その結果、予算対比 100.1%、収入対比 84.6%となりま
した。
- ・ 北海道中小企業団体中央会の「平成 29 年度取引力強化推進事業補助金」でひな
たぼっこのパンフレットを 500 部デイサービスのリーフレットを 50 部作成し
ました。

2017 年度の総収入は 49,054,614 円、支出は 49,334,402 円、営業利益は - 279,788
円のとなりましたが、営業外利益および補助金収入があり、法人税 253,200 円を差し引
くと、当期純利益は 761,426 円、‘17 年度末の繰越金は 9,680,741 円となりました。

3) 職員の移動について

減員：非常勤 2 名 （事務職、看護師）

増員：非常勤 3 名(1 ヘルパー 2 級、介護福祉士)

常勤から非常勤へ 1 名

4) 助成事業等

- ① キャリアパス支援事業:NPO 法人「夢といろ」・社会福祉法人「コムニの里」・
太陽園・ふらっと忠類・元気の里 ひなたぼっこの 6 事業所により 388,000
円の研修事業を行った。
- ② 研修助成制度：6 名（実務者研修 2・同行援護一般課程 3・ケアマネ更新）
- ③ 初任者研修講座 講師派遣